

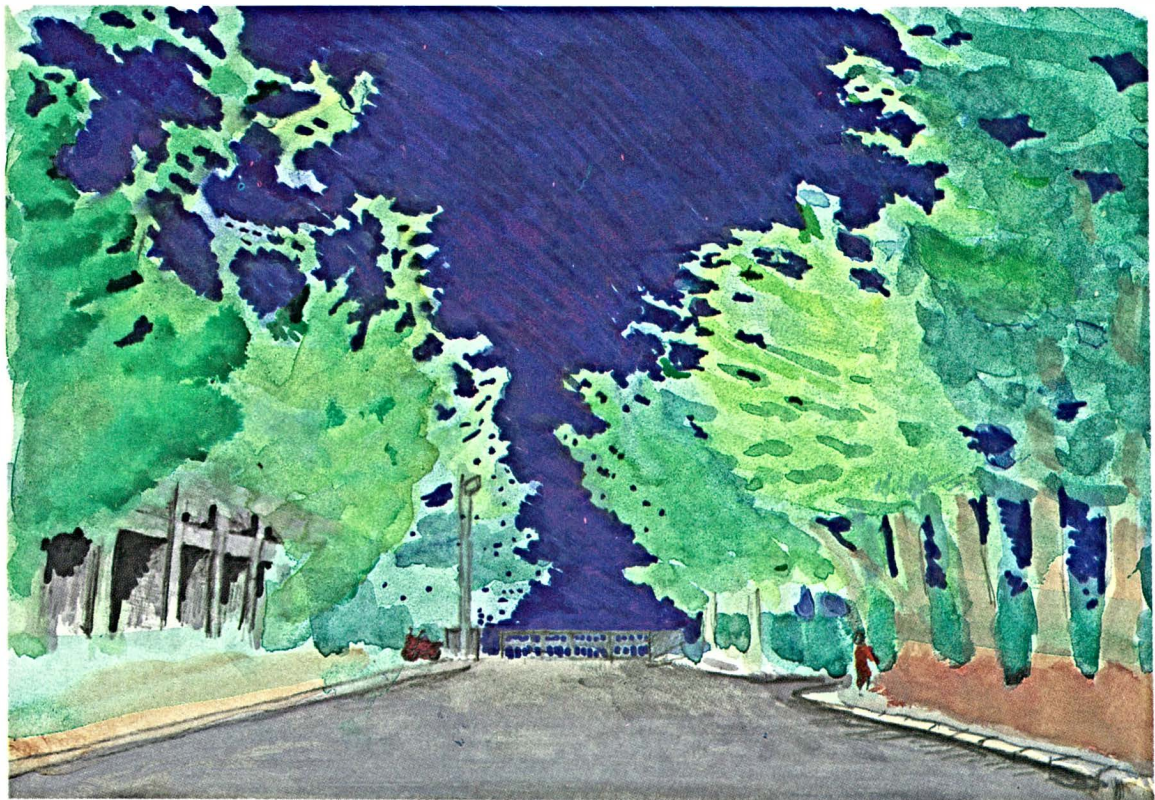
学園ニュース

富山大学

NO. 52

編集 学園ニュース編集委員会 発行 富山大学

昭和61年6月20日



学内風景(その17) 銀杏並木の西門通り 尾崎永治

◇◇◇◇◇ 目 次 ◇◇◇◇◇

新入学生におくる言葉	教養部長	杉本新平	2
御挨拶	保健管理センター長	河野信弘	3
新任教官紹介及びあいさつ			4
友好陰翳	人文学部教授	山口 博	10
バンガラデシュの風景	教養部助教授	溝口常俊	12
生体機能の発現に關与する金属元素の挙動に關する研究	理学部教授	小嶋 學	13
留学雑感	外国人研究者	柴 天 恩	14
構内駐車許可証について	富山大学交通対策委員長	吉田順作	15
学部だより			16
学生部だより			19

新入学生におくる言葉

教養部長 杉本新平

中国の古典の一つに、「大学」といふ書物がある。周知のやうに、この書は、もともと「禮記」の中の一編であったが、のちに宋の朱子が「禮記」のなかから、「中庸」と共に、これを取り出し、「論語」「孟子」を加へて四書としたものである。「大学」には二通りの解釈があり、漢の鄭玄はこれを「為政者の学」と解したが、朱子や宋の大儒程氏は「成人の学」と解し、「初学、徳に入るの門」といつている。といふのは、ここに学問の大綱が示されているからである。事実、真に学問の修得を志すものにとっては必読の書であつた。

「大学の道は、明德を明らかにするに在り。民を親たにするに在り。至善に止まるに在り。」と闡明されている。「大学」の書全体はこのことを説明したものであるから、この三項を「大学の三綱領」といひ、そして更に、その三綱領を実現する細目として、格物、致知、誠意、正心、修身、齐家、治国、平天下をあげこれらを「大学の八條目」といつている。

「古の明德を天下に明らかにせんと欲する者は、先づ其の国を治む。其の国を治めんと欲する者は、先づ其の家を斉ふ。其の家を斉へんと欲する者は、先づ其の身を修む。其の身を修めんと欲する者は、先づ其の心を正しうす。其の心を正しうせんと欲する者は、先づ其の意を誠にす。其の意を誠にせんと欲する者は、先づ其の知を致す。知を致すは物に格るに在り。」格物、すなはち物の理を究めることを第一歩として、人間の良知を磨き、これが平天下といふ窮極の目的につらなつてゆくといふのが、「大学」の論理なのである。これは二千年以上も昔の言葉であるが、現代的にいへば、格物致知は「真理の探究」といふことであり、誠意正心は「魂の純化」といふことである。而も驚くべきことには、学問の尊重を基礎として政治が考へられていることは、今日の政治が専ら権謀術数の権力力学としてのみ考へられているのに比べて、きわめてすぐれた見識を蔵しているといふべきであらうか。

英語の諺に、「Well half, well done」(志立てるは、成功に半ば)といふのがある。諸君がいま大学に入学したといふことは、既に志を立てたことであり、半ば成功といへるかもしれないが、「百里の道は

九十里をもつてなかばす」といはれるやうに、ほんとうの成功はこれからの大学生活の充実如何にあるといはねばならぬ。

人は誰でも成功を望む。ギリシャの賢人の言葉に、「成功の秘訣は無理をしないことである」といふ教訓がある。ここで「無理をしない」といふ言葉の意味は、一攫千金的な夢を見ないこと、分不相應をやらないことをいふのであつて、決して努力を怠つてもよいといつているのではない。例へば、一挙に大金を得ることを思ふのではなくて、まづ小金を貯へることから着実に心掛けるといふことである。しかもこの小金を大金にすることは案外に易しいけれども、まづはじめに小金を作ることは決して容易ではないと、かの賢人は忠告しているのである。「兎と亀」の童話のやうに、歩みののろい亀でも、兎に勝つことができるし、また、「牛歩遅しといへどもよく千里の道を行く」の諺もあり、亀のやうに牛のやうに、急がず休まず、前進に努めることが、「無理をしない」ことの真意である。

「A is a little better than B」といふ平凡な文章のなかにある「a little better」(ちよつとまし)といふことが、前述の教訓と同じやうに、何事においても最も大事なこととなるのである。「ちよつとまし」は、ほんの少しのことだから、軽視しがちであるが、この「ちよつとまし」が大成功の最上の要因となることは、古来多くの事例が証左するところである。大差、大勝を夢みるのは人情であるが、しかし大差大勝は日頃の「ちよつとまし、a little better」の努力からのみ生れることに深く思ひをいたさねばならぬ。ニーチェが「天才は九十九パーセント努力だ」と言ひ、また、パストールは、「天才ノそれは忍耐だ」といつて居る。そしてパストールが妹達にあてた手紙の中に、「この世の中のものすべてが勉強といふことにかかつて居るのです。学問によって自らを他人よりも高めうるので」と書かれている言葉も、武者小路実篤の、「勉強勉強勉強勉強勉強勉強勉強勉強勉強のみよく奇蹟を生ず」といふ揮毫の言葉も、よくよく銘記すべき箴言であらう。諸君の入学を祝福すると共に、希望に満ちた諸君のために敢へてこれら偉大な先人たちの言葉を贈りたいと思ふ。

(61. 5. 15)

御 挨 拶

思えば丁度5年前、東京から赴任して来て、学園ニュースに新任の御挨拶を載せて頂きました。その時も書いたのですが、富山の自然、特に立山連峰の雄大な美しさに引かれ、ある種の心のときめきを感じながら朝の天気を見て、日の出前の立山の見える所を求めて散歩していた自分を思い出します。その後、立場上、体育の実習として学生と共に登山に参加し、劔沢のテント場から劔岳を間近に眺め、一度だけではありますが、3000米近い劔の山頂に立つ事ができました。何しろ、こんなに高い所に自分の足で登ったのは初めての体験でしたので、目のくらむ思いでした。冬もまた、これもスキー実習のおかげで立山山麓の冬景色を楽しんでいます。それと、何度見に行っても飽きないのが称名滝とそこに至る岩壁のすばらしい景観です。それはもう、自然の大きさ、力強さ、威厳とも言える圧倒的な迫力の前には、小さな人間界の雑事など忘れさせられます。古来伝わる立山信仰もさればこそと思うばかりです。

そんな訳で、自然美に心を奪われるのみで、国立大学の機構・運営であるとか、しきたり、慣用語などにはさっぱり不勉強で、永年馴染んだ私学の慣習からの転換がうまくできないでおります。こうした私が、今回はからずも保健管理センターの所長という大変な役をお引受けする事になって、その責の重さに身の引締まる思いです。現在は未だ所長として何をしなければならぬか、何ができるのかさえ判らないのが実情で、抱負などといった事は述べられませんが、保健管理センターの大学における本来の機能を考え、それを教職員学生諸氏にできるだけ理解して頂いて、活用される道を求めて行きたいと思っております。

現在ほど人々が健康を求めている時代はないと思っております。健康志向時代と言うか、健康至上主義と言うか、国民を挙げて自分たちの健康を守る事に熱中しています。逆に言えばそれだけ健康阻害要素が多いのだと言えます。こうした中での、大学における保健管理センターの役割もやはり大きなものがあります。

私がかつて勤務していた順天堂大学は医学部と体育学部からなり、健康大学を標榜しておりました。積極的に健康を増進する方法としての体育学と、病気や障害の治療と予防を通じて健康を守って行く医学と相携

保健管理センター長 河野信弘

えて健康生活に貢献しようとの理想によるものです。その事は、私が医学と体育の接点について関心を持ち、今日保健の講義を担当する基となっています。

体育学では、体力を身体面と共に精神面も含め、行動体力と防衛体力の2面からなるとしております。行動体力には筋力、敏捷性、持久力、意志、意欲と言った積極的行動に必要な条件、防衛体力には免疫とか身体的、精神的ストレスに対する抵抗力といった、いわば身体を守っていくための条件を挙げております。これは体力を健康と置き換えても同じです。

大平洋戦争後の日本の平和教育の中では、それまでの体練(操)科を保健体育科とした事は、今日の健康問題を考える基礎となる英知であったと思っております。積極的身体トレーニングも健康の一助としてあり、保健もまた身体活動に科学的裏付けをして行く。もちろん、体育には身体活動を通しての人間の啓発、教育の役割はありますが、保健と体育が密接に結びついてこそ真の健康が創造されるとするこの考え方は、大学における保健体育の必修化と共に、体育学と保健学の発展の大いなる基となりました。

しかし、今日それぞれの分野で独自の発達がなされた結果、ややもすれば双方が遊離して行く傾向が見られるようで残念に思っています。

“健全な身体に健全な精神が宿る”との言葉は色々の立場の人がそれぞれの解釈をしているようですが、要するに、「からだも心も健康でありたい」、または「心身共に健全でなければ本当の健康とは言えない」との願いの表現であると思っております。そうした意味では大学における保健管理センターも、心の悩みや障害に対応する相談スタッフとからだについての診断、診療の機能があって、よく構成されているようです。

しかし、私共の立場から見ますと、更に積極的な健康づくりとしての日常的な身体運動の面とも、もっと係りがあってもよいのではないかと言う気が致します。これは非常に大きな問題を含みますので、簡単ではないのですが、本学においても当初のセンター設立時の目標にはその事が掲げられていたようにも聞いておりますので、将来に向かっては考えられるべき事と思っております。

いずれにしろ、これから色々の事を勉強しながら、

また、御相談しながら、2年間の任期を務めたいと思
いますので、関係各方面の御協力をお願いして、御挨拶

といたします。

新任教官

○富川 盛道 教授（人文学部） 61. 4. 1
昭 27. 3 北海道大学文学部哲学科卒業
（昭和34. 4. 22 医学博士）
担当：文化人類学

○原田 嘉昭 講師（教育学部） 61. 4. 1
昭 58. 3 広島大学大学院教育学研究科博士課程
（前期課程）修了
担当：国語科教育

○福田 立明 教授（人文学部） 61. 4. 1
昭 43. 3 東京都立大学大学院人文科学研究科
修士課程修了
担当：アメリカ文学

○松本 清 講師（教育学部） 61. 4. 1
昭 50. 3 武蔵野音楽大学音楽学部作曲科卒業
昭 56. 9 ケルン国立音楽大学作曲科卒業
担当：器楽

○永野 弘 教授（教育学部） 61. 4. 1
昭 25. 3 東京大学第一工学部応用数学科卒業
（昭和36. 7. 27 工学博士）
担当：物理学

○柳川 洋一 助手（経済学部） 61. 4. 1
昭 61. 3 京都大学大学院文学研究科博士課程
単位取得退学
担当：比較経済論

○寺崎 章二 教授（教育学部） 61. 4. 1
昭 40. 3 早稲田大学大学院文学研究科博士課程
（西洋史学）単位取得退学
担当：歴史学（西洋史学）

○長久 良一 助手（経済学部） 61. 4. 1
昭 61. 3 神戸大学大学院経済学研究科博士課程
後期課程退学
担当：応用経済学

○栗原 幹夫 助教授（教育学部） 61. 4. 1
昭 32. 3 東京理科大学理学部数学科卒業
担当：数学科教育

○大川 信行 講師（教養部） 61. 4. 1
昭 59. 3 日本体育大学大学院体育学研究科修士
課程修了
担当：保健体育



新任のごあいさつ

人文学部教授 富川 盛道



この4月から、人文学部で文化人類学を担当することになりました。定年でしりぞかれた、前任の和崎先生も、あたらしく同僚となった赤阪先生も、アフリカ研究のふるい仲間です。また富山には、いずれもみじかい滞在ではありましたが、旅行や集中講義や学会で、なん度かお

とずれて、富山の町にも大学にも学生諸君にも、このましい印象がのこっています。そんなわけで、すこぶるアットホームな気分で着任できて、本当によかったと思っています。

三月までは、東京外国語大学のアジア・アフリカの調査と研究にたずさわって来ましたので、アフリカ研究のすぐれた環境を持つ、富山大学の文化人類学研究室で、これまでの研究をつづけることができるのは、とてもうれしいことです。他方、ながい間の研究所ぐらしで、教育の経験が不十分なのは、いささか気になります。この点は、あたらしい環境からまなんで、あたらしい経験を生かしながら、学生諸君とともに成長するよりほかはありません。どうかよろしく、お願いいたします。

富山大学へ来てたのしいことの一つは、研究室の窓から立山連峰の一部が見えることです。わたしは登山家ではありませんが、山は少年時代から好きなもの一つでした。しばしば山に登ったところには、いつか立

山にもと思ったことがあります。それが七年前の大患以来、ドクターストップで登山とは縁がなくなり、折角立山の近くに来たのに、立山はわたしにとって、ついに登ることのない山です。しかし登らない山となっても、立山のすばらしい眺めにかわりはありません。夢さえ、そそられます。この眺めは、わたしが富山大学にひきよせられた理由の一つかもしれません。

これまで富山へくると、最初に学会のときお世話になったワシントン・ホテルにかならずとまりました。それは、あそこの高層レストランの総ガラスの窓から、立山の連峰が見えるからです。

おかげで、富山のワシントン・ホテルにはじまって、それ以来よその都市へ行っても、そこのワシントン・ホテルにとまらたがるくせがついてしまいました。しかし富山のワシントン・ホテルは別格です。いまこうして、研究室の椅子にもたれて、身近になった立山のそのときどきの表情を、ぼんやりと眺めることができるのは、得がたい快樂だと思います。

四月下旬のある日、その日も立山がよく見える日でしたが、大学前の交叉点をわたろうとするとき、校内のそばのサクラの木に風がふいて、何人かの人が一せいに散る花びらをあびていました。あかるく、のんびりとした、しかも生々とした風景でした。それを見てふと、ああい大学へ来たな、と思いました。冬の富山については、なんの経験もありませんが、それはそれで、あたらしいのしみです。こうして、わたしなりのたのしみを見いだしながら、このよき大学で微力をつくしたいと願っています。

着任所感

人文学部教授 福田 立明



富山とは飛騨・白山山系を背に隣り合う岐阜市から転居してきましたので、山と海の方角が南北に関して逆転し、海からの北風という感覚に慣れるのにしばらく時がかかりそうです。昨夏、国道156号線で当地を訪れた際、山村の趣きぶかい白川、

五箇山の両村を経る途中で、岐阜・富山の県境を二、三回も横切る経験をしました。そのたびに富山県側の路傍に草花が植えられているのを見て子どもたちは歓声をあげました。200 軒余り離れただけの隣県でありながら気候の差は大きく、市中の街路樹にもケヤキやハナミズキなど落葉樹の多さが目につきます。ことに嬉しかったのはキャンパスの中央通路の見事なユリノキの並木で、桜の開花にひき続いてあっという間に

萌え出た新緑の鮮やかさに息をのむ思いです。エドガー・ポオの小説「黄金虫」で海賊の宝の所在を示す髑髏が枝に掛けられているのもこの木ですし、アメリカ南部の最古の州立大学、ノース・キャロライナ大学の建学伝説と結びついてキャンパス中央に残る古木もこの木です。その話では、建学の使命を帯びたデイビーが敷地探索の旅に疲れ果て坐り込んだのが、この樹陰だったといっています。

花の形から付けられたチューリップ・ツリーの名で知られるこの落葉高木は、ポオもいうように辺りの木々を圧してそびえ立つ樹姿の見事さで人びとの注目を引きつけたのでしょう。この並木を見上げて勉学に励

む富山大の学生諸君も、いつの日か大木となろうという大志を抱いてほしいと思います。私もアメリカ文学という一接点を通してということになりましょうが、若い人たちの旺盛な知的好奇心を刺戟する役割だけは果たしたいと念願しています。

富山が与えてくれたもうひとつの花、大学の往き来に通る牛が首用水沿いの街路樹に花が付き始めました。十字架伝説のある十字形のこの花こそドッグウッド（アメリカ・ハナミズキ）の花であり、ちょうど2年前のこの時期にヴァージニア滞在中の私共一家のだれもが大好きになった花でした。なつかしい植物相に囲まれて、一日も早くこの市に慣れたいと願っています。

富山大学に着任して

教育学部教授 永野 弘



この4月から富山大学教育学部の方に来ました。この冬一度こちらに参りましたがその時、翌朝早く東京に戻らねばならなかったので、前の晩から雪の降った大学の構内—未だ早朝で誰も通って居ない雪の中を一職員会館から市電の停留所まで歩いて行きました。木木の枝には雪が積もり、これが富山の雪景色かと思いました。大方の人はこんなことは日常の部類と考えて居られるでせうが、東京ではまずお目に掛かれない美しい風景でした。しかしその時は思わなかったけれども、後刻雪を除去するなどもっと現実的なことを考えると随分大変な所かも知れないと思っています。

4月も半ばすぎ、大学の正門から教育学部の建物辺りまで、並木—すずかけのようにも見えるが多分はんとん木かも知れない—この並木にずらっと立看が掛けられていました。木にしてみたら随分迷惑なことだなどと思って見ていましたが、低気圧の風雨で大分倒れ、月末ともなると大体はとり拂われてしまいました。しかし木の幹に巻き付けられているひもは未だそのままのものがいくつもありません。大学の構内と云うのは

大きな樹木が繁っていないと殺風景になってしまう。東大にも大きないちょうが沢山ありました。手入れが大変だなど云う人種もありますが大きな木の存在は大切ですし、又痛みつけてはいけません。

東大でも立看で構内は汚れ、台風のあとなど立看が小さな樹木の上に倒れ、片付けることなく植木が枯れてしまうことがありました。

子供は大きくなる過程で一度は砂遊びをしたり、障子の紙を破いたり、襖に絵を書いたりしないと成長しない。学生も一度は立看に大きな読みにくい字やよく判らない画をかかないと勉強するようにならないのなら、いっそ掲示板の大きなものを学生用につくったらと云う案がありました。この話は立ち消えとなってしまいましたが、富山では正門の横に木に括りつけたのでなく、ちゃんとしたのが一つあります。ちょっとした低気圧では倒れないほどの代物です。三共闘とか書いてありますが、毎日同じ文句では飽きが来ますから、これを皆で利用し代る代る色々趣向をこらしたら、どうかと思います。そのうち学生も十分に満足してよく勉強するようになるのではないでせうか。

大学は勉学と思索の場であることを忘れてはいけません。

新任の御挨拶

教育学部教授 寺崎章二



このほど、教育学部において西洋史学の教鞭をとることになりました。つまり私は西洋史家なのでありますが、生来の怠け者のせいか、コツコツと史料を使っている実証研究は苦手です。そこで「御専攻の時代や国は？」と人から質問された時には、

「時代や国を超えた人間の文化史一般を研究しています。もっと大きく言えば文明論に関心をもっています。」と答えて切り抜けることにしている次第です。

この富山の地は、私にとって生まれ故郷ではありませんが、高岡市の古城公園にほど近いところで、少年時代・青年時代の前後十数年を過しましたので、まずは富山人と自称してよろしいかと思えます。

高岡高校を経て、昭和30年4月から昭和34年3月まで富山大学の旧蓮町校舎の文理学部で、今は亡き岡本基先生の薫陶のもとに西洋史を学びました。その後、早稲田大学大学院に進み、昭和40年3月同大学院修了後ただちに東海大学に奉職し、今年の3月まで20年余を過した訳です。従って、この4月より縁あって富山大学へ着任したというのは、27年ぶりに富山へ還って来たということになります。27年ぶりに味わう富山の雪はどうだろうか、と半分不安であり「なあに、刷れているから平気さ」という思いが半分です。

目下のところ、妻と娘たちを神奈川県茅ヶ崎市の家に置いて、私が単身赴任の富山生活です。何しろ、初めて経験する国立大学の勤務のこととて、分からないことが多々。どうかよろしく御指導の程をお願いする次第です。

就任のご挨拶

教育学部助教授 栗原幹夫



風薫る4月1日、ことのほかの好天の日、教育学部へ着任しました。前任校は、筑波大学附属駒場中学・高等学校です。“筑波”と言えば“研究学園都市”を連想されると思いますが、“駒場中・高”は、井の頭線の駅「駒場東大前」のすぐ近くです。中・高生を相手に、スポーツに勉強に励んできました。附属校の使命である教育研究にも力を入れ、実践・実証を重ねてきたつもりです。このたび、縁あって、富山大学に籍を置かせていただくことになりましたが、この経験を生かして、授業に、研究にとりくんでいきたいと思えます。富山の雪にうずもれて、じっくり仕事にとりくみ、たしかな仕事をしたいと思っています。

雪と言えば、立山連峰の雪の白さに感動しました。宿舍の窓から、講義室の窓から眺める山々の雪には、都会の雑踏にもまれた身にとって、新鮮なすがすがしさを感じさせ、さっぱりとした気分になります。背骨

がすっきりとのびるようです。研究室の窓の外には、桜が咲きはこり、学問をするにはとてもよい環境にきたと思います。そして、さらに嬉しいことは、水のうまさとお米のおいしさです。したがって、酒も美味。快適な環境です。絶好な環境に適応するためには、身心の鍛練が必要だ、と考えています。

私の専門は教科教育法です。児童・生徒の思考を再生的なものから、生産的なものへ変容させるために、具体的に、方法論的な追究をしています。教育事情が騒然としている昨今、教授者も学習者も生産的な創造的な思考が必要です。教育には、教授者の一方的な押しつけやつめ込みだけでなく、学習者の試行錯誤を許容し、自ら探究し会得する機会が必要です。創造的な雰囲気の中には挫折感・虚無感は無いと信じています。

現在のような情報化社会の中で、生産的な創造的な思考は、未来を開く原動力として重要視され、教育界に、その育成が求められています。私は、この時代的な要請を算数・数学教育に反映させたいと念願するものです。“言うは易く、行は難し”と痛感していますが、この主旨を理念として、初等・中等教育に生か

すべく、学生達と共に考え、教授構造 (Teaching program) と学習構造 (Learning process)

の研究を続けたいと思っています。
よろしく願い致します。

着任のご挨拶

富山の風は冷たいか？

教育学部講師 原田 嘉昭



月日というものはいつもそうですが、過ぎ去ってみれば早いものです。富山大学に迎えていただいて一ヶ月半を過ごしました。

「北国は寒いぞ。」という、しごく当然の、しかし呪縛力のある言葉を和歌山の友人たちから浴びせられながら、和歌山の

地を後にしたのが、つい昨日のこのように思われます。

岡山県に生まれ、最初の勤務地を和歌山県に求め、転任先は富山県…と、偶然にも「山」を下に持つ県ばかりでしたが、南育ちの私にとって雪国・富山の名はまた格別の響きを持っていました。

着任してみると、空気の透明感と立山の雄姿、付け加えるならば素朴な人柄と清浄な水にまず心ひかれました。とりわけ、北陸自動車道路を通過して富山入りした時、前方にそそり立つ屏風のごとき立山を目にした

際の、畏怖に近い感動は今なお鮮やかです。

こうした自然の中で、私はと言えば大山の前で蟻のものがくごとくに、毎日バタバタと慌てふためき、悠然たる生活からはほど遠い暮らしをしております。

百人を越える聴講者を持つ「国語科教材研究」、あるいは人文学部の学生諸君も聴講する「国語科教育法」を担当するにあたっては、いわゆるマス・プロ授業にならぬよう心を砕いていますが、未熟な身ゆえ思い通りになっているか、心もとない点多々あるように思います。

前任校・和歌山高専における三年間の国語教師としての経験からだけでなく、それに先行する十八年間の生徒としての経験からも何かをすくいあげなければと考えています。

教科教育の原点である個体史的現実の把握と、そこから帰納される理論の構築とを目指して、微力を傾注する所存ですので、諸賢の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新任のごあいさつ

教育学部講師 松本 清



このたび教育学部で器楽を担当することになりました。自己紹介と抱負等を少々書かせていただいて、ごあいさつとしたいと思います。まずは私の音楽歴ですが、学生時代は「ゲンダイオンガク」作曲家を目指して、

ダダ・シュール・現象学・構造主義・・・と手当たり次第かじりつつダンモのズジャや集団即興などにつつまぬかし、ドイツに渡ってからは偉大なクラシックの壁にぶちあたり右往左往、今度はソーセージをかじりながら夜はオペラ、昼は現代音楽の生活で6年がかりのディプロムコンポニストと相成り、帰国後音楽短大にて音楽全般を担当といった

具合です。また、ブラモデルから始まり、カメラ・望遠鏡・オーディオ・マイコンとひと通り分解組立をし、家具はほぼ手作りといった趣味を持っています。

20年程前に富山を訪れた時に、水の美味しさと最高の星空に感激した覚えがありますが、今4月より一月程住んでみてそれに加え、街のドイツ的な清潔さと景観の素晴らしさを味わっています。

さて、このSN比のよい絶好の環境の中で学生諸君とともに、音楽教育を考えてゆく訳ですが、芸術が文化の総合として発現する以上、音楽の枠にとらわれることなく、あらゆる分野—芸術に限らず—からの援用を試みたいと思っています。また、音楽をひとつの日常的な表現手段として捉え、より能動的な関わり方を探ることで自発的な学習形態を導き、音楽が本質的に

持つ啓発生を、教育の中に敷衍したいと考えています。どこまで実現できるかは分かりませんが、諸先生方の宜しきご指導、ご鞭撻と学生諸君の協力のもとで、少し

でも前進するよう努力する所存であります。よろしくの願いいたします。

新任のごあいさつ

経済学部助手 柳川 洋一



4月1日より社会学担当の教官となりました。よろしくお願い申し上げます。さて、「京都からやって来た…」と申しますと、富山の方々は口々に「今頃はよい気候なのだが、冬になると大変ですよ。」と言われる。一般に、どのような新参者も彼（女）を受け入れる古参の成員や事情通にとってみれば。ひとりのストレンジャーでありましょう。したがって、これから定着することになる地域や集団の特徴を新参者に伝えようとするのは自然なことであるし、それは新参者にとっても大変な難いことである。ひとしきり雪国の冬の生活の苦勞を話されたあとに、私が「高校までは上越市（高田）に住んでた。」と伝える

と話し手の態度は一変します。「釈迦に説法」の感じと同時に、雪国の苦勞を共有する同輩という親しみがあるのでしょうか。近頃では、こうした態度変容を楽しむという悪い趣味をもちだした。

地域や集団を移動する人々は増え、その機会も飛躍的に増大していることを考えると、様々な次元での移動者の離陸一定着のプロセスを一般化した形式で考察することは社会学の重要なテーマともなるだろう……。こうしたとりとめもないことを考えながら早一カ月余が経過しました。精神的にも経済的にも不安定なことの多い大学院時代とはちがって、一定の安定的な研究基盤をもつ集団に移動したのですから、研究にも努力するつもりです。美しい富山の風土や富山大学の自由な学風が、私のささやかな研究に反映できればと念願しております。

着任にあたって

経済学部助手 長久 良一



この4月より経済学部で地方財政論を担当することになりました。姓はナガヒサと読みます。専攻は理論経済学、わけでも社会的選択理論（Social Choice Theory）が私の最も得意とする分野です。政治などのように、我々の社会では人々の相異なる選好・価値観などを集計し集団的意思決定を導く必要にしばしば直面します。社会的選択理論は、かような場合に望ましい幾つかの規範的特性を備えた集団的意思決定ルールが存在するか否かという議論を展開してゆくのです。アロウ（Arrow）は、幾つかの民主主義的要求を満足するルールは必然的に独裁制に達着するという驚異的な逆説（アロウの不可能性定理）

を論証しました。神戸大学大学院での4年間、私はアロウをはじめとする社会的選択理論の研究に打ち込んできました。

私が目下のところ最大の関心を抱いているテーマはこの社会的選択理論の手法を用いて、ワルラス的競争均衡を解明することです。市場による資源配分方法もまた一つの社会的選択構造をもっており、これをつかみだし、展開することを富山大学での研究テーマにしたいと考えております。かような方向での研究は皆無といってよく、全く心もとないのですが、幸いにも本学経済学部には私と似た分野を専攻されておる先生が何人かおられ、地方大学に拘らず私にとっては大変恵まれた研究環境です。何とか問題を決勝点までやり遂げたいと考えております。

私は助手ですから、まだ講義は受けもっておりませ

ん。うまくゆけば来年には講師になり(?)、講義をもつことになるかと思えます。地方財政論は私の専攻とは若干異なりますので、今から少しずつ準備しています。特に地方財政の議論では地方自治法などの制度的側面からのアプローチが不可欠であり、私は理論畑を歩いてきたので制度は全く勉強しておらず、制度に関する知識を蓄えております。講義の形式・内容はまだ一切考えておりませんが、百科辞典のように知識を羅列す

るような総論的総花的な講義ではなく、現代地方財政を抱える主要問題(たとえば、官僚的非効率性や財政制度の分権・集権など)を幾つかとり出し深く分析してゆく講義を行いたいと考えています。大事なのは知識ではなく、社会科学的な思考形式を身につけることであると思うからです。

以上新任にあたっての抱負を述べました。今後ともよろしくお願い致します。

新任のごあいさつ

教養部講師 大川 信行



この4月より教養部において保健体育を担当することになり、本学に赴任してから1カ月余りが過ぎました。私の生まれ育ったところは、静岡県沼津市というところ。周知のように静岡は、雪が年に1度降るか降らないかという大変に温暖な土

地柄です。そのためでしょうか、私が静岡出身と言いますと、どなたも「大変ですよ」というお言葉を返して下さいます。本格的な雪との生活を営んだことのない私にとって、今年の冬はさぞや厳しいものになるのではないのでしょうか。また、車に乗っておりますと、度々方角にまごつくことがあります。表日本の山は北、海は南の環境に慣れておりますので、裏日本の富山に来ては仕方のないことかもしれません。意識してなおせるものではありませんが、慣れるまでには、まだし

ばらく時間がかかりそうです。

ところで、私は本学に赴任するまでの2年間、日本体育大学の体育研究所で助手として勤務しておりました。所属が研究所ということもあり、学生と接することが少なく、今回富山大学に勤めるにあたり、授業その他で学生と話す機会を多く持てたことを大変うれしく思っております。私の専門は、近代日本の学校体育史ですが、その中で大正から昭和初期にかけて公布された『学校体操教授要目』について研究をしてまいりました。今後は、これらの専門領域を深めるとともに、富山大学に居る利点を活かして、北陸地方の体育・スポーツに関しても考えてみたいと思っております。

現在のところ、毎日が慣れないことばかりで、落ち着きませんが、もししばらくしましたら、腰をすえて研究に取り組もうと思っております。微力ながら教育・研究に努力いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

友好陰翳

人文学部教授 山口 博

来るべきものが来たと言ったら、言い過ぎになるだろうか。昨年の九月の、北京大学を始めとする幾つかの大学の学生による反日デモである。「日本帝国主義打倒」「靖国神社公式参拝反対」「歴史の教科書書き換え反対」などという、過去にかかわるスローガンにとどまらず、「中曾根内閣打倒」「日本の中国への第二次占領反対」「経済侵略反対」など、現在の日中友好を真向から否定するスローガンにまで、エスカレートしていた。成都の学生デモは、暴徒化する騒ぎにま

で発展したという。

日本語・日本文学についての中国人研究者養成を目的として、日本学研究センターを発足させたばかりの私たちが、異常な緊張感を持ったのも、当然のことである。研究生の何人かは、デモに参加していたのであるから。

来るべきものとの予感、二つの社会状況からの判断である。その一つは、8月10日を中心とする、抗日戦争勝利40周年の、国家を挙げての大キャンペーンである。

およそ1か月ぐらいは続いただろうか。テレビは連日抗日戦争の実写フィルム、映画、ドラマを放映した。「人民日報」も抗日戦争の記事で埋められ、京劇・舞踊・音楽までも動員された。北京の軍事博物館では、その特別展が催され、入場の人は長蛇の列を作った。

日本占領下の北京の横丁の暮しを描いた老舎の名作「四世同堂」が、テレビドラマ化されたのもその一環であった。テーマ音楽となった宋王朝の亡国の英雄文天祥の「正気歌」は、すばらしかった。脚本も俳優も良く、昨年度のテレビドラマの最高傑作といわれている。しかし、傑作であればあるほど、そこに描かれた日本人の残虐さは、中国人に印象づけられたのである。

軍事博物館へは、日本人だという顔や姿で行くには、行きにくい雰囲気があった。布靴を履き、スポーツシャツの裾をズボンの上に出した中国人スタイルで、小さくなって見学したのである。南京や河北省潘家峪の虐殺のパネルの前では目を背け、館員の解説には、耳を覆ったのである。

キャンペーンを繰り上げた中国指導部の意図は、過去の日本の侵略の姿をクローズアップすることにはあつたのではないらしい。政治離れの著しい若者たちに、解放中国を建設した中国共産党の栄光を認識させること、党の主導権を高め、党内部の団結を一層強化すること、など国内政治意識の高揚にあつたようだ。ところが民衆は、党の問題よりも日本の侵略の歴史に目を奪われたのである。

そのような状況の中で、油をそそいだのが、中曾根首相の靖国神社公式参拝である。彭真・全国人民代表大会常務委員長は、「二千余万人もの犠牲者を出した中国人民の心を傷つける行為」と批判した。

昨年12月9日は、北京の五千人の学生が「日本帝国主義打倒」「全国が武装をして華北を守れ」のスローガンのもとに、日本の中国侵略に抗議して立ち上って50年に当った。学生たちは大規模な運動を計画した。各地の共産党幹部は、直接説得にのりださねばならぬ状態であつたのである。

反日運動は抗日戦争という過去にこだわつてのみおきたのではない。「経済侵略反対」というスローガンが示すように、現在の日中関係にも端を発している。これが第二の社会状況である。

北京市内にあるばかりでかい日本商社の広告看板のネオンが自主的に消されたのは、8月になってからだろうか。王府井の入口に在った商社の看板が塗りつぶされたのは12月だつたと思う。これらの行為は、反日デモの原因がどこにあつたかを的確に語っている。

中国都市の名物である自転車の群れを、け散らすようにけたたましくクラクションを鳴らして走る車のほとんどは日本製である。家庭電気製品も、人気があるのはこれも日本製品である。大はトラックから始まって小はインスタントラーメンに至るまで、中国は日本製品の洪水である。

近代化、対外開放政策を進める中国が、最も日本に期待したのは、国内の生産力を高めるための技術であつた。が、入つてきたのは技術ではなく、あふれるばかりの商品であつた。中国人の日本製品への憧れは強い。それを知つた中国の貿易会社が、日本製品を買い漁つたこともあるだろうが、中国を大市場と見て、争つて商品売り込んだ日本商社の責任はないだろうか。

「中国経済の遅れにつけ込んで、日本は金もうけだけを考へている」という声を、どう受けとめたらよいのだろうか。昨年9月のテレビ・ドラマは、日本人商社員を悪役に近く仕立てていた。日本の欠陥車や中古機械の市場流入への批判が新聞にとりあげられていた。中国学生たちの「経済侵略反対」を説得することができるのだろうか。

料理・買物・見物にしか興味を示さない旅行者、中国語修得のみしか考へない留学生、商品の市場としてしか見ない商社員、研究の資料とのみ考へている学者。「您好！」と笑みを浮かべて差し出された中国人の手を、日本人は真に「您好！」と握り返すことができるのだろうか。

(筆者は、日本学研究センター客員教授として昭和60年4月から1年間北京に滞在した。)

バングラデシユの風景

教養部助教授 溝口常俊

松田聖子がカットされた。と、JOCV(日本海外青年協力隊)のNさんが話しに割り込んできた。日本映画祭で上演された「野菊の墓」で主人公の聖子が恋人と土手を転げ落ちるというクライマックスシーンが見事にカットされていたという。日本以上のクリーンさにあきれさをとおりこして感動して話してくれた。

バングラデシユ国産映画の半数以上がラブストーリーで、その筋は、かよわき美しきヒロインが悪役にいじめられるのを正義の味方が助け出し、やがて二人はゴールインという単純明快なものである。そして、そのゴールインの場面というのが、決して、真っ赤な太陽がまさに沈まんとするモスクの前で清らかに見つめ合うという何とも美しい情景で結ばれる。

現実では、異性と出会う機会はほとんどなく、恋愛結婚もまずない。若い男女が二人だけで寄りそっているものなら間違いなく村八分にされると、真顔で若いドクターが語ってくれた。バングラの冬は、乾期で爽やか、日本でいえば初夏の軽井沢、祭りの季節である。あちこちの町にはジャトラ(旅芸人の踊り子集団)がやってくる。ジュートの天幕をはり夜通し踊る。客はすべて男性で、踊り子の裾がまくれ上がり膝が見えただけで異常に興奮する。それほど女性はめづらしいのか。

女性がない。これが昨年12月20日に初めてバングラデシユを訪れてその首都ダッカに着いたときの第一印象であった。日本の三分一の国土に日本と同じくらいの人口を抱える国だけあって、さすがに人が多い。ところが、出会う人、出会う人、男また男である。これがムスリムの国なのか。人口の半数近くは女性のはずなのに、彼女達は一体どこで何をしているのであろうか。一部の高学歴の女性は町に買い物にだけかけ、一部の貧しい家庭の女性は行商に出かけたりする。しかし大多数は自分の家に閉じこもったまま外に出ようとしない。一生のほとんどを複合家族のしがらみの中で過ごす彼女達の生きがいは何か。

バングラの女性の生活を少しでも知る事はできないものか。まず女性を捜す事から始めねばならない。1986年1月1日にダッカからバスで2時間ほどゆられてミルザプールという農村地域にかけた。以後2ヶ月間滞在し、そこに分布する28の定期市を片っ端から訪

ね歩いた。一番小さい市でも売手は100人を越え買手はその数倍に及ぶほどの賑わいである。南インドの定期市でそうであったように買物は女性の重要な仕事であり楽しみでもあるはずである。大勢の女性が賑やかにくりだして来るのを期待していた。しかしその人ごみの中でも女性とはめったに出会わなかった。たまに出会ってもそれは父親、兄弟に連れられてきた女の子であった。ただ二つの市で成人女性のチュリワリ(プレスレット売り)が目にとまった。彼女達の村の女性は皆チュリワリであるという。

チュリワリの村トゥリマハーン(三つの川という意味)を早速訪ねてみた。アシスタントのモミン君に引きずられるまま川辺に降りて行った。川があっても村がない。目の前に11艘の小舟が並んでいるだけである。11戸の村であった。水上生活者といえば魚を採るか、運搬業をするぐらいとしか思っていなかったのが意外であった。女性が朝から晩まで行商、男性が家事、子守。舟板をはずしてプレスレット、装飾品、おもちゃのいっぱい入った籠をみせてくれた。これを頭にのせて村回りをする。1日の売り上げが数十タカ(500円位)にすぎず、このほとんどを仕入れと食費に使い、借金をしながらの苦しい生活である。25才のコデアさんに泣きつかれた。バス事故で右手を負傷した旦那にしっかり稼げとせかされるんだが乳飲み子がいては満足な仕事はできない。この子をなんとか日本へ連れて行って欲しくないかと。あまりの訴えにこちらも一瞬手が出かかったが、一人や二人で済みそうもなく丁重に断わった。赤ん坊を抱えていたり、病気になる時は夫が定期市にでかけ懐中電灯、鍵、鏡、あるいは靴の修理などをして急場をしのぐ。総じて彼ら土地を持たない貧しいムスリムは女性といえども外へ出て働かねばならないのである。

バングラデシユで大多数を占める農民ムスリムの女性に会いたい。しかしムスリムの家はガードが堅い。竹やヤシの葉の塀で決して外からは見えないようにしてあり、簡単に中に入って行くことはできない。たんぼ道を歩き続けて1ヶ月半ふと名案が浮かんだ。村回りの行商人に付いて行けば何とかなるのではないか。そのころまでに親しくなっていたアルミニウム食器のフェリワラ(行商人)のドゥリル・ウッディン氏に早

速頼んでみた。二つ返事でOK。

2月25日正午にスタートして、道すがら順に訪ねた最初の6軒、借金が払えないという理由で口論になった2軒目を除いていずれも華やかな雰囲気にも包まれた。アルミニウムの食器といえばバングラ中どの家庭でも使われている。こんな必需品でさえも買いに出かけられない女性達は、そのうっぶんを晴らすがごとくとつかえひっかえ品物を取り出しては値切り、楽しんでいる。多種多様の行商人が活動できる背景がこんな所にありそう。

あまりにもすんなり女性に囲まれたので狐につままれたような気がした。よく考えてみると塀がない。この6軒はムスリムの家ではなかったのだ。バングラで15%のヒンドゥーの家であった。ヒンドゥーの女性はみな陽気で、ときにはこちらが冷やかされたりする。ムスリムが大勢を占める国の悲劇か、彼女達が自由に外出できないのが残念でならない。

7軒目からはムスリムの家が続いた。天秤棒を担いだウディン氏がぎこちなく塀と塀の間を通り抜け、

中庭に入る。店びらきをするとともに、見知らぬ私が入ってもいいか主人におうかがいをたてる。やっと念願の塀の中に入れた。しかし食器の買付けは男性に限られており、奥さん連中は窓や扉から顔を覗かせ様子をうかがっているだけである。ときどき出たそうにするのだが、主人に制止され思うようにならない。私がいるせいかもしれないが、人前に顔を出すことは極力戒められているようだ。

とつぶりと日が暮れたころ15軒目の訪問を終え、ウディン氏はまあまあの上を得、私はフェリワラと買い手との興味あるやり取りを体験でき、共に満足して帰路についた。ただ、ムスリムの女性の生活をかいま見るといふ当初の目的は残念ながら達成出来なかった。

8月2日、日本へ帰る10日前、ダッカにおりてきた。相変わらず派手な宣伝をした映画館が目止まる。例によって黒山の人だかり。しかし、その中に女性は一人もいなかった。

特定研究

生体機能の発現に關与する金属元素の挙動に關する研究

理学部教授 小 嶋 學

生体系における金属イオンの役割については、種々の実験材料で種々の方向からのアプローチがなされています。本研究では、動植物を含め、生体機能と金属イオンとのかわり合いの一端を知る目的で、井上弘先生、道端 齋先生、中村省吾先生の御協力を得、ウニ卵、ホヤの成体ならびに血球細胞、更に、ホウレン草やツユクサやソラマメの葉を実験材料として用いカルシウム(Ca)イオン、バナジウム(V)イオン、マンガン(Mn)イオンの生体系における役割を調べました。今回は、紙面の都合上、主に、ウニ卵での実験結果について述べてみたいと思います。

ウニと云えば、皆さんは、寿司のタネの一つだとすぐ思いつかれることでしょう。実は、あの、オイシイ、オイシイと云って食べておられる部分は、卵巣や精巣なのです。私達は、生殖時期にはそれらの中に一杯つまっている卵や精子を、実験に使っているのです。従って、あっ、これだけの卵があれば何回も実験が出来るのにと、すぐ考えてしまいますので、自分から進んで注文したことは一度もありません。それがウニに対

する仁義?だと思っています。ついでに、今一つ、どうして私達がウニの卵を実験に使っているのか、その理由についてもふれておきましょう。それは、ウニは採集しやすく、卵の海水中での人工受精やその後の飼育が容易であり、しかも、細胞分裂など発生の仕方が典型的であることなどによるためなのです。私達は、研究にウニ卵を使っていますが、受精やそれにひき続いておこる細胞分裂など、生物界に共通で、最も基本的な現象を解明するためであって、ウニそのものに関する現象とか、ウニの増殖のためのみの研究をしているわけではありません。閑話休題、前おきが長くなりました。それでは、実験の話に移ります。

ウニの受精ならびに細胞分裂の際、Caイオンが重要な役割を演じていることは以前から知られていましたが、最近になって、Caイオンの細胞内の挙動を容易に追跡する方法が開発され、また、Caイオンに特異的に作用する薬品も見出されて来て、いろいろ新しい知見が得られています。例えば、Caイオンを含まない海水中では卵を受精出来ないことは分っていたのです

が、それは、精子の頭部の先端に先体突起と呼ばれる繊維状の構造が形成されず、精子が卵の表面に接着し卵内に入ってゆけないためであるということが明らかになりましたし、また、精子や薬品処理により卵は活性化され発生を始めますが、この時、卵内の膜構造に結合していたCaイオンが遊離し、この遊離したCaイオンにより、いろいろな生化学的、形態学的変化がひき起こされることも分って来ました。

そこで、私達は、先づ、Caイオンの細胞膜透過を阻害する薬品であるベラバミルやジルチアゼムをとりあげ、これらの薬品で処理した精子や卵を用いて、受精がおきるか否かを調べました。その結果、薬品で処理した精子と処理しない卵を用いた場合、受精率がかなり低下することが分かりました。電子顕微鏡での観察は目下準備中なので断言は出来ませんが、光学顕微鏡での観察結果から、どうも精子の先体突起の形成が抑えられたたけのように思われます。それ故、通常は、精子が卵に接近中か、又は、卵に接触直後、海水中のCaイオンが精子の細胞膜を透過して内部に入り、そのCaイオンが引き金となって先体突起が形成され、精子は卵内に進入可能になると考えていいようです。次に、ベラバミルなどで処理した卵を用い、処理しない精子により受精がおきるか否かを調べました。ウニ卵は受精されると、精子の卵表面に接着した場所から始まって、受精膜が、普通1分以内に卵全体をおおうように形成されます。この時、同時に、精子が1匹しか卵内に入れないようにする変化、いわゆる、精子拒否変化が卵表面を伝播します。しかし、処理卵では、受精膜形成はみられませんし、何匹も精子が卵内に入

ってしまうのです。こういう事実は、受精膜形成に関係した変化や、精子拒否変化に、Caイオンが如何に密接に関係しているかを示すものと云えましょう。

ここで、次の実験シリーズの話に移りたいと思います。今度は、細胞内のCaイオンを遊離させる作用をもつ坑生物質でA23187と呼ばれる物質や、局所麻酔剤であるプロカインなどを使用しました。A23187やプロカインで処理してから卵を受精させますと、面白いことに、くり返しおこる細胞分裂の周期が短くなり、即ち、細胞分裂が促進されて、その結果として、処理卵は処理しない卵よりずっと早く、受精膜の外へ泳ぎ出して来る幼生になることが出来るのです。このような細胞分裂の促進を示す卵の呼吸量、と云っても、私達のように肺で息をするわけではなく、正確に言えば海水中に溶けこんでいる酸素の消費量が、処理しない卵よりも高まっていることも分かりました。現在、こうした卵では、果して、Caイオンが未処理卵より多く遊離されているか否かを測定するための準備中です。今までに、A23187はCaイオンを遊離させることが知られています。もし、この場合もそうだとしますと、細胞分裂の促進や酸素消費量の上昇は、細胞内の遊離Caイオンが大きな役割を演じていることとなります。

以上、ウニ卵を例にして話を進めて来ましたが、このように、金属イオンは、生体系において種々の重要な機能を果しているのです。今後も、尚一層の努力をつくして実験をしてゆきたいと思っています。

留 学 雑 感

工学部外国人研究者 柴 天 恩 (中国)

去年11月14日に、私は富山大学工学部電子工学科宮下教授のご厚意で客員研究員として、富山大学に来ました。以来五ヶ月以上経っています。大雪の身にしみるような寒い冬から暖かい桜の花が咲いている春を迎えました。この五ヶ月の間に様々な事が私の目にとまりましたし、研究に関してもいろいろの事を経験しました。

私は教育工作者(講師)で、中国の大学で二十年以上勤めています。中国の教育については知っていますが、日本の教育状況については何も知りませんでした。

この五ヶ月の富山大学での勉強と生活を通じて日本

の教育状況がある程度理解しました。また富山市の工業、経済、交通等から、先進発展的な日本社会の幾分かを知りえたと思いますし、日本国民の勤勉、器用、高水準の生活、高精度の社会管理などをみる事ができました。

富山県は、その生涯を日中友好のために捧げられた故松村謙三先生の郷里であり、松村謙三先生を深く尊敬しておりますので、私は富山に来られたことを大変幸せに思っています。

私は中国の西安から来ました。西安は中国の古い都市で、昔は長安といわれました。西漢、秦、漢、隋、

唐など11の王朝が前後1100年間、都としていたことがあります。漢代から西安は中国と世界諸外国との交流の中心地となり、有名なシルクロードもここからスタートしていたのです。唐の時代に日本の友好使者であった阿部仲麻呂や空海たちは西安に多くの遺風を残しています。西安は秦の始皇帝の陵、兵馬俑博物館、唐の時代の大雁塔、明の時代のきれいな城壁等の名勝古跡と豊富多彩の芸術文化を保存しています。毎年世界各国から大勢の観光客が訪れますが、その中で日本の観光客が一番多いようです。

西安は今、日本の京都と奈良市と姉妹都市の関係にあります。富山市は西安市より小さいのですが、神通川の河畔にあり、空気も新鮮で、立山が望める風景もまことにきれいで、静かな町だと思います。交通は整備されています。富山大学の周囲の環境は美しいし。生活も便利で、勉強するには良い所です。富山大学工学部は私の学校（陝西機械学院）よりすこし小さいのですが、実験室の設備のすばらしさに驚いています。

来日以来、ずっと研究室で宮下教授と女川助教授のご指導のもとでEL素子を研究しておりますが、桑原教官や柴田技官、大学院生の方々もとても親切で生活や研究面で心暖い面倒を見ていただいています。異国に来て、不便な感じが次第に無くなりました。宮下教授は長く表示素子の研究に従事されていまして、中国でもよく知られております。幸い、国際学術交流促進という見地から、現在遼寧大学の仲玉林助教授と私とが指導を仰いでいるという次第です。私の研究テーマはEL素子の原理・実験・データ解析などです。また柴田技官からも実験等をおして様々教示にあずかっています。講座の院生も毎日一生懸命に実験をやり、実験の装置も自分で作ったりもします。私の大学は富

山大学に比べて実験設備が少ないため、学生は理論中心ということにならざるをえず、実験の面については日本の学生ほど強くない感じがします。

電子工学科電子素子講座は人材兼備の良い講座です。私は幸に良い先生、良い学友に恵まれて、EL素子研究を順調に進めています。確かに電子素子講座においては研究室一体の努力によって高いレベルの研究が行われおり、液晶技術とEL素子の分野において大きな貢献がなされていると感じています。

はじめて来た頃、日本の料理はあっさりすぎて、生ものも多いので、閉口しました。昼食はいつも生協で日本式の中華そばばかり食べて、夕方下宿で自分で好きな中華料理をつくりました。今、食生活には次第になれてきましたが、やはり自分で作った食事が口に合います。夕食が済むと研究室へ戻って勉強したり、実験したり有意義に一日をすごしています。

今の中国は科学技術方面ではいろいろの原因で日本より大部遅くはありますが、中国人も日本人と同じように勤勉で、これから一生懸命に努力すれば、どんどん進歩できると信じています。

私も昔の遣唐史のように先生方のご指導のもとで真剣に日本のすぐれた科学技術を吸収して、中国の四つの現代化を実現するために、中日両国人民が子子孫孫友好的につきあっていくために頑張ろうと思っています。

構内駐車許可証について

富山大学構内交通対策委員会

委員長 吉田 順 作

永年にわたる懸案事項であった工学部の五福キャンパスへの統合移転が、60年9月末をもって無事完了し総合大学としての本学の今後の発展を大いに期待できる素地が築かれた事は、御同慶の至りであります。

富山大学構内交通対策委員会は、以上の様な環境条件の変化に対応して

富山大学構内交通規制に関する暫定要項

富山大学構内交通規制に関する暫定実施細目について、暫定の2字を取り除くべく審議を重ねて来ている状況であります。

そしてこの第1着手として、従来富山大学構内交通規制に関する暫定実施細目に定められていました駐車許可証の様式を自動車（自動二輪車、原動機付自転車を除く。）に対して下記の通り変更することに昭和61

年8月27日の委員会で決定し、昭和61年5月1日より実施することになりましたので御協力方よろしくお願ひします。

なお、申請の際には自動車検査証を持参して所属学部の駐車許可申請を受けつけている担当係まで申し出て交付を受けて下さい。

記

1. 従来のシール式駐車許可証を廃止し、カード式駐車許可証とします。
2. カード式駐車許可証の有効期限は発行年度限りとし、継続するときは年度毎に許可申請をして下さい。
3. カード式駐車許可証は、自動車のダッシュボードの上の外から見やすい位置に置いて下さい。

過去何回かの駐車実態調査のデータを拝見しますと、未登録車の駐車台数が極めて多いという事が分ります。未登録車の排除を適切に実施できる施策を今後本委員会で研究討議して行きたいと考えており、そのためにも前記の措置は望ましいことですので御了承願ひます。

◇◇◇◇◇ 学 部 だ よ り ◇◇◇◇◇

◆ 経済学部

経済学部改組のあらまし

経済学部長 瀧 好 英

経済学部では、61年度から大規模な改組が行われています。改組の完成後には、経済学部は、超大型学部へと様変わりすることになります。この度の改組については、昼夜開講制だけが報道の前面に押し出された観がありますが、実際には、ほかにも重要な改革が行われています。この紙上を借りて、それらの概要を披露させていただくこととします。

この度の改組の内容は、四つの事項に分けて考えるのが妥当かと思われまふ。「昼夜開講制」、「学生定員」、「大学科目制」、「教官の定員と構成」がそれです。

1. 昼夜開講制 勤労者その他の社会人に勉学の利便を提供し、生涯教育路線の一端を担おうとするもので、当然、夜間授業の開講を伴います。従来から二部制の大学はありましたが、その場合は、夜間における

授業時間の不足等から卒業までに5年を必要としています。そこで、主として夜間に履習するが、一定の限度内で昼間の履習も認めるという建前で、卒業までの必要在学期間を4年とするいわゆる夜間主コース制が注目されています。同時に昼間の学生にも夜間履習を認める昼間主コース制を併用してすでに実施している例があります。愛媛大学法文学部と福島大学経済学部がそうです。また、夜間学生の昼間履習は認めるがその逆は認めないとするAコース・Bコース制をとっているところに千葉大学工学部と山形大学工学部があります。当学部は前者の例に従うもので、夜間主コースを持つ学部としては5番目の出発になります。もちろん、本学の場合は、併立の経営短大を発展吸収する形をとっていること周知の通りであります。

2. 学生定員 改組前の学部の定員300名と短大定

(駐車許可証(学生用)様式)

許可番号		-	
富 山 大 学			
駐 車 許 可 証			
有効期限 昭和 年 月 日まで			
車両登録番号		氏 名	
連絡先	TEL	所 属 等	

(注)規格 B6判

(裏面)

注 意 事 項

1. 本許可証は、大学構内に駐車する際、運転席前面の位置で外部から識別できるように表示すること。
2. 駐車禁止区域内では駐車しないこと。
3. 本許可証は、他人に貸したり譲ったり絶対しないこと。
4. 構内の道路標識、標示に従い安全運転に努めること。
5. 有効期限が経過したとき、卒業、退学等により学籍をはなれたとき、又は車を使用しなくなったときは、直ちに駐車許可証を発行者に返還すること。
6. 記載事項に変更のあるときは、発行者に届け出ること。
7. 駐車中に盗難あるいは事故等により損害が生じても、大学は一切その責任を負いません。

富 山 大 学

員100名を合わせて400名とすべきところでしょうが、教育制度の発展充実を強調する意味合から、さらに20名を追加して都合420名(臨時増募は別)としました。なお、人口30万人余りの富山市を基盤として需要動向を推測すると、夜間主コースの定員に短大定員をそのまま受け継ぐのには問題があるように考えられます。そこで、差し当っては、夜間主コースは定員60名で発足することとなりました。それだけ昼間主コース定員の増加となったわけです。なおまた、夜間主コース第1回生の専門課程移行時から、短大卒業者の定員外(?)特別編入制度も予定されています。

3. 大学科目制 従来の小学科目制では、個々の学科目ごとに「教授1名、助教授1名」の定員が配置されていました。この制度の下では、教授と助教授の間にかかなりの(25年以上の)年令差を必要とします。さもないと、助教授は、いかほど立派な業績を積んでも、教授が停年等で退職するまでは絶対教授になれないという制度的矛盾に陥るからです。そこで、大学科目制にして、一つの学科目に教授も助教授も複数名ずつ配置するようにすれば、定員のやりくりがしやすく、しかも、専門分野を細かく指定せず余裕をもって人材を探すことが可能になります。たとえば、当学部のうち経済学科は四つの大学科目構成となりましたが、その中の一つ「理論経済学」を例に申しますと、完成年度には、「教授5名、助教授2名」が配置されるはずで、このように人事運営の円滑化に不可欠と考えられる大学科目制が実現できたことは、学部にとって大きな喜びと申すべきでしょう。なお、大学科目編成に伴って、実験科目は該当学科目内すべての授業科目に適用されますので、事実上、実験科目増となったことも見逃すわけにはいきません。

4. 教官の定員と構成 小学科目制の下では、教授と助教授の定員は同数ずつ配置されますが、大学科目制ではそのような定員配置法にこだわる必要がなくなります。完成年度以降における学部全体の教官定員は、「教授51名、助教授21名」(ほかに助手12名)となることが見込まれます。したがって、教授と助教授の比率は、従来の5:5から7:3へと著しく改善されることになり、研究教育体制の充実という目標に向って

大きく前進することになりました。

以上の通り、経済学部は大幅に改組前進する運びとなりましたが、一方では、永い間県民に親しまれかつ多くの卒業生を送り出してきた経営短大の幕が閉じられることとなります。現在なお2,3年生が在学していますが、62年度までで正規進学の新入生はいなくなります。ここで、経済学部の変遷とともに経営短大の歩みを振り返ってみましょう。

まず、経済学部の発足は昭和24年度とされていますが、当初は文理学部経済学科として設立され、学部として独立したのは28年度です。この独立を機に、学生定員は当初の100名から160名となり、教官定員は22名(他に助手5名)配置されました。その後、49年度には経営学科が、54年度には経営法学科がそれぞれ新設され、旧来の経済学科と合わせて3学科制の学部となりました。学生定員も300名に、教官定員は48名(他に助手12名)に増加して今日に至ったものです。

一方経営短大は、昭和34年度に併設され、学生定員80名、専任教官8名で出発しましたが、51年度からは学生定員が100名に、教官定員は9名に増加して今日に至りました。なお、経営短大の入学志願者数を一べつしますと、発足当初しばらくは200名を超える盛況でしたが、44年度あたりから急減し、50年代前半にはやや持ち直して150名ラインを維持していましたが、50年代後半には再び減少傾向を呈し、昨60年度には、ついに定員を下回る90名(実入学者70名)に激減いたしました。その理由は必ずしも明確ではありませんが、3年制の夜間短大に対する県民(というよりも富山市民?)のニーズの変化であることは疑う余地もないでしょう。

このような、夜間短大に対する地域住民のニーズの変化が、今回の学部改組の原因の一つになっていることは否定し得ないところでありますが、国家財政事情の厳しいこの時期に、前述のような大きな改組、とりわけ大学科目制への編成換えと教官定員の大幅増(ならびに教授比の増大)が実現しえた意義は大変大きなものがあります。私ども当事者としましては、これを機に、研究・教育体制の一段の充実に努力すべきものと襟を正して受け止めているところであります。

◆ 理 学 部

素粒子物理学 1986 富山国際会議を了えて

理学部教授 松 本 賢 一

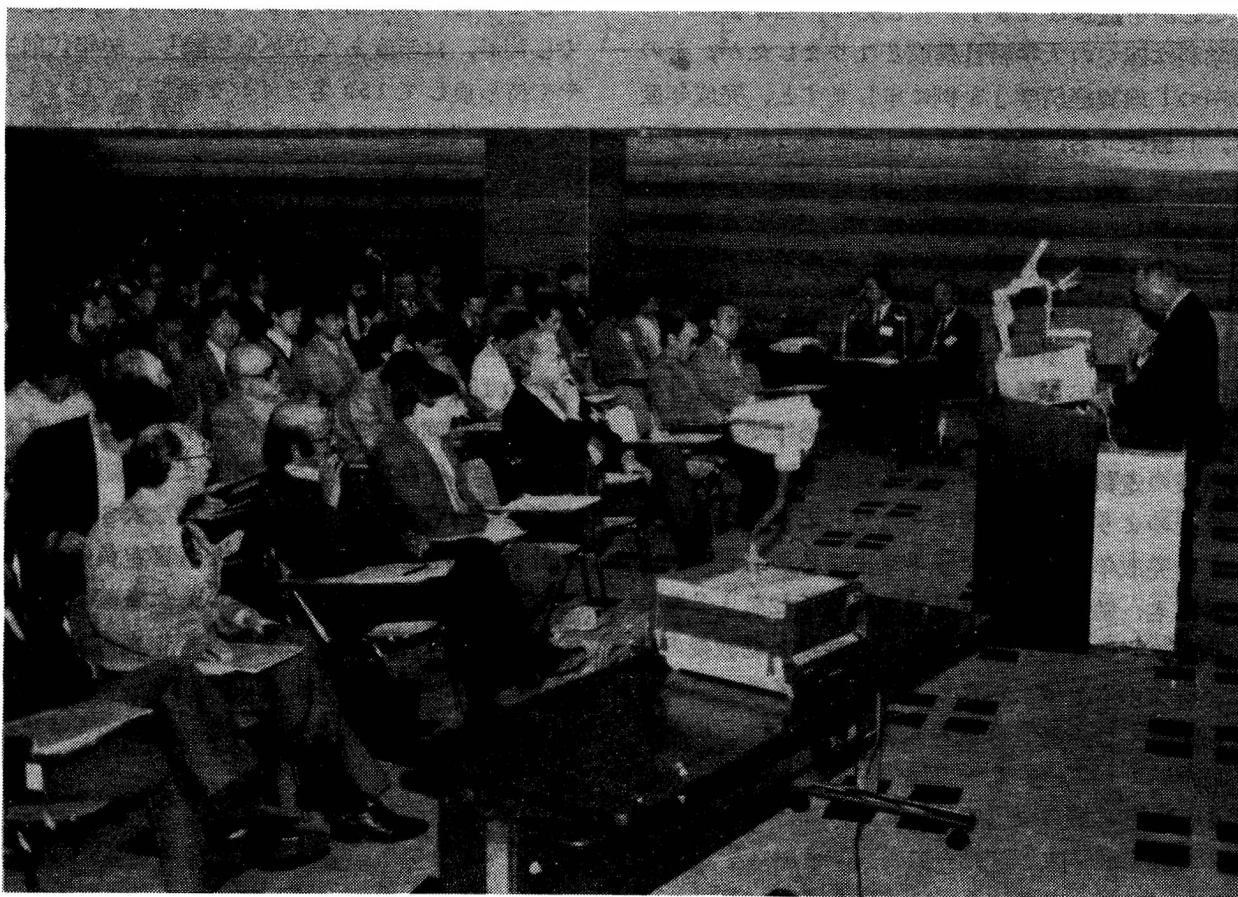
本学理学部物理学教室が東京大学理学部素粒子物理学国際センターと共同主催した上記国際会議は、成功裡に4月16日からの3日間の日程を終了した。同会議は正式には「基本力の大統一に関する第7回ワークショップと重粒子数非保存に関する1986国際コロキウム」で、これ迄6回米国で開催されてきた「ワークショップ」と米、印、伊で開催されてきた「国際コロキウム」とが、今度、初の合同会議の形で、日本で、そして富山で、開催されたものである。

この会議には、国外からノーベル賞受賞者2名を含む50名(米34、伊6、ソ連3、仏2、スイス2、カナダ2、シンガポール1)、国内から105名の、この分野のエキスパートが参加した。

会議は大井富山大学長の開会歓迎挨拶で始まり、すぐ本題に入った。会議の主題は、基本力(電磁気力、弱い力、強い力、重力の4つが知られている)の大統一理論の模索であった。近年、宇宙の特性が、素粒子にみちた初期宇宙の帰結として解明されつつあり、それで、この主題は亦宇宙論の核心課題でもあった。

会議では、29の招待講演で最新の研究が報告され、討論された。そして、上記4つ以外の新しい基本力の存在可能性に関する実験的理論的研究、銀河の分布に関する最新知見とその由来を大統一理論に求める研究、陽子寿命に関する神岡での最新実験結果、スーパーstring理論(大統一理論の最新理論)に関する研究等で新しい成果を生んだ。

国際素粒子学会



(写真は開会式での大井富山大学長のあいさつ。北日本新聞社提供)

松川ペリの満開の桜にマッチした富山県民会館での2日半の会議を了えたあと、約8分の2の参加者は、神岡茂住鉱内の地下観測所を視察し、その規模を現在の10倍とする将来計画に想をこらした。

本国際会議は、本学が主催する初の国際会議であり、物理学分野では中部地方初の本格的国際会議であった。国際会議は文部省の助成行事となったが、全国の関係研究者の強いサポートと本学の努力と実績が、難関をこえてそれを実現した。

年度はじめというまれて難しい時期の開催であったが、会議参加者からは、会議のオーガニゼーションについて大変な好評と多くの感謝の言葉をいただいた。国際会議期間中に開かれた国際委員会は、次回を来春米国のシラキューズで、次々回をフランスで開催することを決定したが、それらの関係者は、今回の立派なオーガニゼーションのあとでやりにくいという言葉すらも

らしていた。これは、関係された多くの教官・職員・協力員の方々の献身的なすぐれた尽力のたまものであった。本学のこの新しい経験は、これからは先進実績として、他大学から参考とされるであろう。

国際会議の成功は、また、富山県をはじめ、県内外の諸財団、富山市、県内外の多くの企業等から受けた予期以上の御理解と御支援のたまものでもあった。

おわりに新たな夢を記し報告を了えたい。それは、本学のこの分野の研究水準が更に高まり、本学物理学教室が神岡地下実験所の将来計画の中でその一翼をになうようになり、本学に博士課程大学院が実現すること、そしてその上で、本国際会議シリーズの次のサイクル時に再び訪れるであろう日本開催時期を迎えたいという夢である。もう1つの夢は、本学への進学ガイド上の評価や進学志向が高まることである。これらの夢が正夢となることを切望している。

⊙⊙⊙⊙⊙ 学 生 部 だ よ り ⊙⊙⊙⊙⊙

＊ 来春卒業予定の皆さんへ

学生部長 本 田 弘

皆さんは、来春卒業されるにあたり、将来の進路について、いろいろ検討されていることと思いますが、すでに御承知のように、昭和61年度の就職のための選考開始時期等については、大学・高等専門学校関係団体と中央雇用対策協議会の双方において、次のような内容の申合せが行われております。

1. 会社訪問開始 8月20日

＊ 経済学部夜間主コース学生へ

学生部においては夜間主コースの学生諸君の厚生補導に関し、特に平日は窓口事務を授業開始前の午後6時迄行っているなのでその時間帯で手続等を行って下さ

2. 選考開始 11月1日

これらの申合せは、学校教育の適正な実施及び学生の就職の機会均等・公平性を確保するという観点から定められたものです。

皆さんも、この趣旨を十分理解されて、この申合せを遵守するようお願いします。

い。

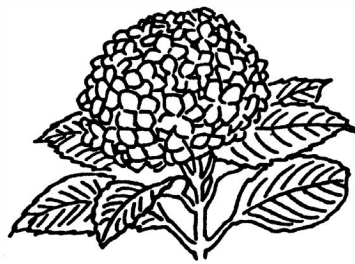
なお、保健管理センターも学生部と合わせ平日は午後6時迄業務を行っております。

◇ 第38回北陸地区国立大学体育大会は、北陸地区国立大学体育連盟及び金沢大学の主催で7月13日(日)を中心に別記会場で開催されます。

競 技 日 程

種 目	期 日	開始時間	競 技 会 場	出場選手数	競 技 方 法 及 び 小 種 目
陸上競技 男・女	7月6日	10:00	石川県西部緑地公園	(1) 1種目2名以内(リレーを除く)ただし、1名のオープン参加を認める。 (2) 1人の出場種目は8種目以内とする。(リレーを除く)	男子(トラック) 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 110mH, 400mH, 3000mSC, 400mR, 1600mR (フィールド) 走幅跳, 三段跳, 走高跳, 棒高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投, ハマー投 女子(トラック) 100m, 200m, 400m, 800m, 100mH, 400mR (フィールド) 走幅跳, 走高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投
野 球 男	7月18日 (雨天の場合 14日に延長)	9:00	石川県立野球場	25名以内	リーグ戦
庭 球 男・女	7月11・12日 7月13日 (雨天の場合 14日に順延)	9:00	石川県兼六園コート 金沢大学特町コート	男子15名以内 女子7名以内	団体(トーナメント戦) 男子 4複7単 団体(リーグ戦) 女子 2複8単
軟式庭球 "	7月18日 (雨天の場合 14日に延期)	9:00	石川県兼六園コート	男子30名以内 女子20名以内	団体(点取りリーグ) 男子5チーム9セット 女子8チーム9セット 個人(トーナメント) 男子15チーム以内9セット 女子10チーム以内9セット
卓 球 "	7月13日	9:00	金沢市中央市民体育館	男子20名以内 女子12名以内	団体(リーグ戦) 男子4複7単 女子2複5単 個人(トーナメントシン グルスのみ) 男子20名以内 女子12名以内
バドミントン "	7月11日 7月12日 7月8日	18:00 9:00 "	金沢大学小立野体育館	男子16名以内 女子10名以内	団体(点取りリーグ) 男子8複4単 女子2複8単 個人(トーナメント) シングルス 男子12名以内 女子6名以内 ダブルス 男子組以内 女子5組以内
バレーボール "	7月13日	10:00	男子 金沢城東市民体育館 女子 金沢市城南市民体育館	男女共 12名以内	トーナメント戦 3位決定戦(女子のみ) 3セット
サッカー 男	6月22日 7月6日 7月13日	11:00 14:00 "	石川健民淡簡島 グラウンド サッカー場	20名以内	トーナメント戦
ラグビー・ フットボール "	6月22日 6月29日 7月6日	11:00 14:00 "	石川県サッカー・ ラグビー競技場 (根 趾)	25名以内	トーナメント戦 3位決定戦(85-5-85)
剣 道 男・女	6月29日	9:00	金沢大学大体育館	男子25名以内 女子12名以内	団体(点取りリーグ) 男子13名以内(登録15名以内) 女子5名以内(登録7名以内) 個人(トーナメント) 男子10名以内 女子5名以内
柔 道 男	7月13日	10:00	金沢大学小体育館	17名以内	団体(点取りトーナメント) 3位決定戦 個人(トーナメント) 4名以内
バスケットボール 男・女	7月13日	10:00	石川県体育館	男女共20名以内	トーナメント戦
水 泳 男・女	7月18日	9:00	松任若宮健民プール	(1) 1種目8名以内 (2) 1人の出場種目は8種目以内(リレーを除く)	男子 自由形 100m, 200m, 400m, 800m 背 泳 100m, 200m 平 泳 100m, 200m バタフライ 100m, 200m メドレーリレー 400m, リレー 200m, 800m 個人メドレー 200m 女子 自由形 100m, 200m, 400m 背 泳 100m, 200m, 平 泳 100m, 200m, バタフライ 50m, 100m メドレーリレー 400m リレー 200m, 400m 個人メドレー 200m

種	目	期 日	開始時間	競 技 会 場	出場選手数	競 技 方 法 及 び 小 種 目
ヨ ッ ト	男・女	7月12・13日	9:00	七 尾 湾	20名以内	(スナイプ, 470級) 総合と種目別 スナイプ級 2艇制 470級 2艇制
準 硬 式 野 球	"	7月12日 7月13日 (雨天の場合 14日迄順延)	13:00 9:00	金 沢 大 学 野 球 場	25名以内	トーナメント戦 8位決定戦
ハ ン ド ボ ー ル	男・女	7月13日	10:00	金 沢 美 術 工 芸 大 学 体 育 館	15名以内	男子 トーナメント戦 3位決定戦 女子 金大-富大のエキシビジョン
空 手 道	男	7月13日	10:00	金 沢 大 学 小 体 育 館	20名以内	団体 自由組手【5組】リーグ戦各試合2分8本勝負 個人 自由組手トーナメント戦各4名以内2分8本勝負 (引き分けの時2分延長後判定)
弓 道	男・女	7月12日(付矢) 7月13日	9:00	石 川 県 立 武 道 館 弓 道 場	男子14名以内 女子6名以内	団体 男子8名(1人20射 計160射) 四ツ矢5回 女子4名(1人20射 計80射) 個人 団体戦出場者及び男女8名 (20射中の中数の多い者)
体 操	"	7月13日	10:00	金 沢 大 学 大 体 育 館	男子20名以内 女子10名以内	男子 床運動・鞍馬・平行棒・吊輪・跳馬・鉄棒 女子 床運動・段違い平行棒・平均台・跳馬
自 動 車	"	7月13日	7:00	東 部 自 動 車 学 校	団体 { 各種目 2名 個人 { 各種目 出場者 2名以内	フィギアレース (1) 軽四輪(550cc以下) (2) 小型トラック(ナンバーキャ ブオーバータイプ) (3) 小型乗用車 (4) 普通乗用車
創 作 舞 踊	"	7月13日	14:00	石 川 県 文 教 会 館		公 開 演 技
少 林 寺 拳 法	"	7月12日	13:00	金 沢 大 学 大 体 育 館		公開演武(団体演武・組演武・個人乱捕リーグ戦)
合 気 道	"	7月12日	14:30	金 沢 大 学 小 体 育 館		公開演武(組演武)
ア メ リ カ ン ・ フ ッ ト ボ ー ル	男	6月29日	13:00	金 沢 大 学 城 内 グ ラ ウ ン ド		金沢大学と福井大学のエキシビジョン



◇昭和61年度富山大学都道府県別入学者数調

	人 文	教 育	経 済		理	工	計 (%)
			昼間主	夜間主			
北 海 道	5		2		2	1	10 (0.7)
青 森							
岩 手							
宮 城			1				1 (0.1)
秋 田					1		1 (0.1)
山 形			2				2 (0.1)
福 島					1		1 (0.1)
茨 城	1		1				2 (0.1)
栃 木	2				1		3 (0.2)
群 馬			1		3		4 (0.3)
埼 玉	1		3		3	1	8 (0.6)
千 葉	2				2		4 (0.3)
東 京			1		7	1	9 (0.6)
神 奈 川			1		3	1	5 (0.4)
新 潟	2	1	3		4	6	16 (1.2)
富 山	119	196	193	47	81	143	779 (56.2)
石 川	30	31	56	5	19	49	190 (13.7)
福 井	9	5	23	2	13	5	57 (4.1)
山 梨	1						1 (0.1)
長 野	1		5		6	2	14 (1.0)
岐 阜	7	3	17	2	10	20	59 (4.2)
静 岡			3	1	7	3	14 (1.0)
愛 知	1	1	24		13	57	96 (6.9)
三 重			4		4	6	14 (1.0)
滋 賀	1		6		5	4	16 (1.2)
京 都	2		2		3	6	13 (0.9)
大 阪	2	1	6	2	6	8	25 (1.8)
兵 庫	1		7	1	2	6	17 (1.2)
奈 良							
和 歌 山					2	5	7 (0.5)
鳥 取			1				1 (0.1)
島 根	1		1				2 (0.1)
岡 山	2		2		1		5 (0.4)
広 島			2			1	3 (0.2)
山 口						1	1 (0.1)
徳 島			1				1 (0.1)
香 川		1					1 (0.1)
愛 媛							
高 知							
福 岡			1				1 (0.1)
佐 賀		1			1		2 (0.1)
長 崎							
熊 本							
大 分							
官 崎			1				1 (0.1)
鹿 児 島							
沖 縄							
計	190	240	370	60	200	326	1,386 (100.0)

◇昭和60年度卒業生進路(就職)状況

昭和61年5月1日現在

学部	項目 性別 学科課程	卒業者数		就職希望者数		就職不希望者数		就職者数		未就職者数		就職率(%)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人文学部	人文学科	36	45	32	44	4	1	27	33	5	11	84.4	75.0
	語学文学科	23	52	20	50	3	2	14	41	6	9	70.0	82.0
	計	59	97	52	94	7	3	41	74	11	20	78.8	78.7
教育学部	小学校教員養成課程	47	91	46	91	1		45	83	1	8	97.8	91.2
	中学校教員養成課程	19	24	19	24			18	20	1	4	94.7	83.3
	養語学校教員養成課程	2	18	2	16		2	2	13		3	100	81.3
	幼稚園教員養成課程		28		27		1		25		2		92.6
	計	68	161	67	158	1	3	65	141	2	17	97.0	89.2
経済学部	経済学科	94	7	92	7	2		92	5		2	100	71.4
	経営学科	96	12	88	12	8		88	12			100	100
	経営法学科	55	8	52	7	3	1	51	7	1		98.1	100
	計	245	27	232	26	13	1	231	24	1	2	99.6	92.3
理学部	数学科	21	7	18	5	3	2	17	4	1	1	94.4	80.0
	物理学科	26	3	19	3	7		18	3			94.7	100
	化学科	19	15	13	15	6		8	11	6	4	61.5	73.3
	生物学科	14	9	8	7	6	2	7	5	1	2	87.5	71.4
	地球科学科	18	6	12	6	6		11	5	1	1	91.7	83.3
	計	98	40	70	36	28	4	61	28	9	8	87.1	77.8
工学部	電気工学科	50		43		7		43				100	
	工業化学科	27	4	18	4	9		18	4			100	100
	金属工学科	24	3	15	3	9		15	2		1	100	66.7
	機械工学科	36		35		1		34		1		97.1	
	生産機械工学科	37		32		5		32				100	
	化学工学科	28		22		6		22				100	
	電子工学科	38	1	27	1	11		27	1			100	100
	計	240	8	192	8	48		191	7	1	1	99.5	87.5
合計	710	333	613	322	97	11	589	274	24	48	96.1	85.1	

◇昭和60年度卒業生産業別就職状況

昭和61年5月1日現在

産業別		学 部						産 業 別		学 部					
		人文学部	教育学部	経済学部	理学部	工学部	合計			人文学部	教育学部	経済学部	理学部	工学部	合計
農 業								不 動 産 業	1						1
林 業								運 輸 ・ 倉 庫 業	1	2	7		3	13	
漁業・水産養殖業								電 気 ・ ガ ス ・ 水 道			4		3	7	
鉱 業								マ ス コ ミ	新 聞 ・ 出 版	3		1		4	
建 設 業	2	2	4		1	9	ラ ジ オ ・ テ レ ビ		2		2			4	
製 造 業	食 料 品	1		9		10	サ ー ビ ス	小 計	5		3		8		
	織 維			3		3		広 告 ・ 観 光 業	4	1			5		
	印 刷	6	1	2		3		医 療 保 健 業		2	1		3		
	化 学 工 業		1	7	17	10	非 営 利 的 団 体			2			2		
	石 油 ・ 石 炭 製 品						公 共 企 業 体 等		1	8			9		
	鉄 鋼		2		1	2	5	小 計	4	4	11		19		
	非 鉄 金 属	1				6	7	教 育	19	163	4	20	3	209	
	金 属 製 品	1		10		6	17	公 務	国 家 公 務 員	3	6	13	2	24	
	一 般 機 械 器 具	2		4	6	23	35		地 方 公 務 員	1	4	28	3	1	37
	電 気 機 械 器 具	3		10	13	57	83	小 計	4	10	41	5	1	61	
輸 送 用 機 械 器 具	1		1		30	32	上 記 以 外 の も の	31	16	30	25	22	124		
精 密 機 械 器 具		2			2	4	合 計	115	206	255	89	198	863		
そ の 他	4		9	1	22	36									
小 計	19	6	55	38	161	279	規 模 別 就 職 先	大 企 業 (従 業 員 数) 300人 以上	48	8	143	39	153	391	
卸 小 売 業	商 事 ・ 貿 易	10		28	1	3		42	中 企 業 (従 業 員 数) 30 ~ 299人	36	11	59	21	41	168
百 貨 店 ・ ス ー パ ー	11	3	5			19		小 企 業 (従 業 員 数) 29人 以下	8	13	3	2		26	
小 計	21	3	33	1	3	61		企 業 以 外	23	174	50	27	4	278	
金 融 保 險	銀 行	3		16		1	20								
	信 用 金 庫 ・ 信 用 組 合			19			19								
	保 險 業	2		14			16								
	証 券 ・ 商 品 取 引	3		14			17								
小 計	8		68		1	72									

◇ 第3 体育館について

本学第3 体育館は硬式テニスコートに隣接して設置され4月から体育授業等に使用されております。

この体育館は、国立大学で初めてのユニークな高床式の施設である。北陸特有の気象条件下にある本学として、ピロティ部分は積雪時はもとより雨天時に活用出来る施設であります。また体育室の照明器具は、昇降式であり、ギャラリー窓はハンドル開閉式となっております。

施設の使用については下記に基づき学生部に申込みして下さい。

記

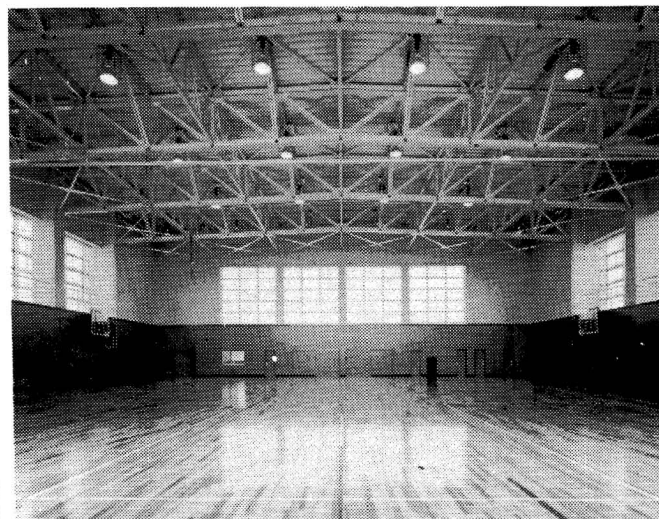
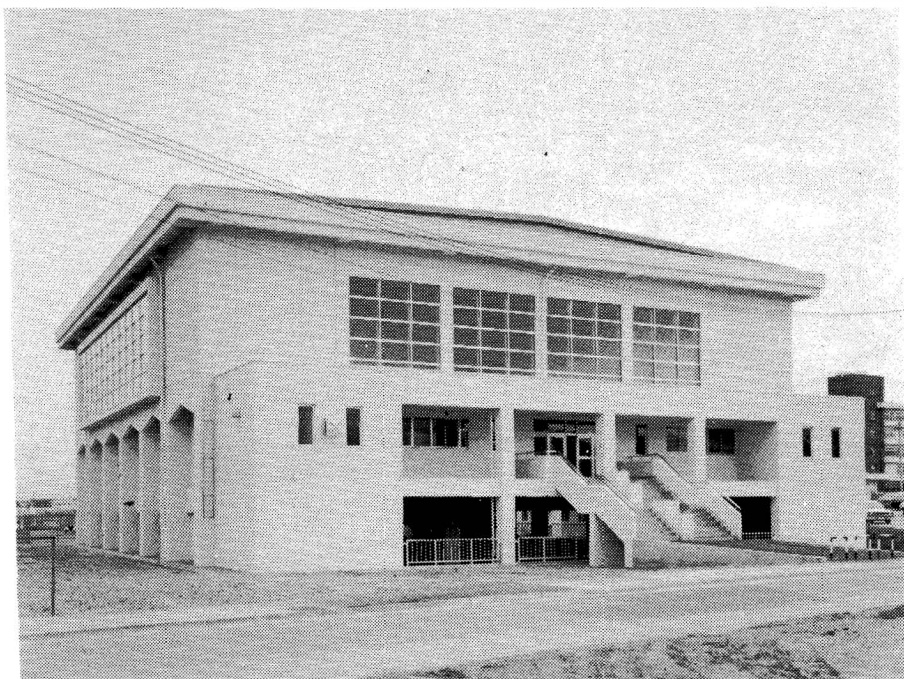
1. 使用する者は、まず最初に体育会と調整のうえ

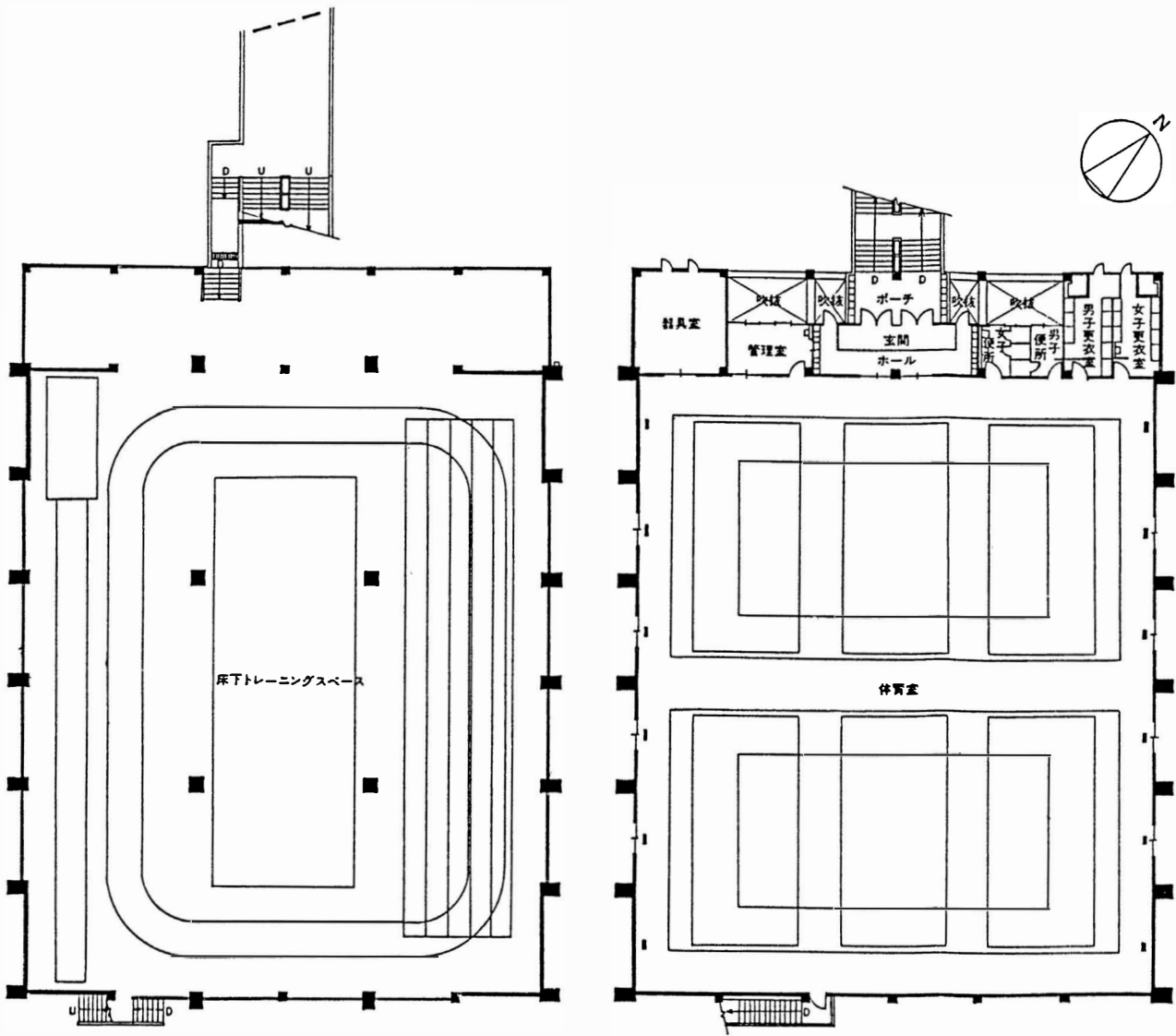
校舎使用願に体育教官の承認を得て、学生課に提出し使用許可書の交付を受けること。

2. 使用時間は、原則として8時30分から21時00分までとすること。
3. 使用後は、フローアの清掃・用具のあとかたづけを厳守し、電気、ガス、水道などを確認のうえ退室すること

建物面積

体育室他	1204. ²⁸ m ²
階下・ピロティ	1244. ⁵⁸ m ²
計	2448. ⁸⁶ m ²





***** 学園ニュース編集委員 *****

学生部長	本田 弘	理学部	松本 賢一
人文学部	山口 幸祐	〃	広岡 公夫
〃	榎木 謙周	工学部	多々 静夫
教育学部	佐々木 浩	〃	杉本 益規
〃	山本 都久	教養部	高安 和子
経済学部	大野 正道	〃	山本 孝一
〃	相澤 吉晴		